

特別調査

「中小企業における『成長戦略』への期待について」

問1. 本年6月に政府が打ち出した新たな「成長戦略」では、いわゆるアベノミクス効果について「日本経済はあらゆる面で上昇局面に向かっている」としています。貴社では、アベノミクス効果をどのように捉えていますか。これまでの実感について1～5より1つお答えください。また、今後の期待感について6～0より1つお答えください。

(単位：件・%)

	これまでの実感					今後の期待感				
	1. 大いに実感している。	2. やや実感している。	3. どちらともいえない。	4. あまり実感していない。	5. まったく実感していない。	6. 大いに期待している。	7. やや期待している。	8. どちらともいえない。	9. あまり期待していない。	0. まったく期待していない。
合計(構成比)	0.6	8.1	15.0	28.9	47.4	4.6	17.9	19.7	31.2	26.6
合計件数	1	14	26	50	82	8	31	34	54	46
製造	0	3	5	12	19	4	5	7	14	9
建設	1	5	10	12	14	1	14	9	10	8
卸売	0	0	1	2	4	0	1	0	4	2
小売	0	3	6	15	30	2	5	10	18	19
サービス	0	3	4	9	15	1	6	8	8	8

*アベノミクスの現時点での実感については「実感していない」が76.3%と、「実感している」の8.7%を大きく上回った。アベノミクスの今後については「期待していない」が57.8%と半数を超え、「期待している」とする企業の22.5%を大きく上回った。

問2. 政府が掲げる「成長戦略」では、「法人税率の軽減」と、「代替財源として課税範囲の拡大・見直し」が提唱されています。貴社では、法人税制改正案についてどのように捉えていますか、次の1～7より1つお答えください。

(単位：件・%)

	1. 歓迎している。	2. やや歓迎している。	3. やや心配している。	4. 心配している。	5. どちらでもない。	6. 当社には関係がない。	7. わからない。
合計(構成比)	7.5	16.2	20.2	13.3	17.9	8.7	16.2
合計件数	13	28	35	23	31	15	28
製造	5	5	9	5	7	3	5
建設	3	10	11	4	8	3	3
卸売	1	2	0	3	0	1	0
小売	2	8	8	10	10	6	10
サービス	2	3	7	1	6	2	10

*法人税制改正(法人税率軽減と、課税範囲の拡大・見直し)については、「心配」しているが33.5%と、「歓迎している」の23.7%を上回った。また、「どちらでもない(17.9%)」、「当社には関係ない(8.7%)」と中立の回答も目立ち、「わからない」と回答する企業が16.2%あった。

問3. 政府はこれまで、「成長戦略」の中で企業の設備投資を促しています。こうしたなか、貴社では、どのような状況になれば積極的な設備投資を開始しますか。次の1~0より1つお答えください。

(単位：件・%)

	1. 先行き不透明感の払拭	2. 設備投資税制優遇や助成金等の拡充	3. 設備の陳腐化・老朽化	4. 金融機関の貸出態度緩和	5. 顧客・取引先からの受注増加	6. 機械化投資の必要性増大	7. 業種轉換	8. その他	9. すでに積極化している	0. そもそも積極的な設備投資を行うつもりはない
合計(構成比)	19.7	7.5	10.4	4.0	15.6	3.5	0.6	0.0	2.3	36.4
合計件数	34	13	18	7	27	6	1	0	4	63
製造	5	4	8	1	5	4	0	0	2	10
建設	11	3	3	1	12	1	1	0	0	10
卸売	1	2	1	0	0	0	0	0	0	3
小売	13	2	2	4	6	1	0	0	0	26
サービス	4	2	4	1	4	0	0	0	2	14

*積極的な設備投資をする条件としては、「先行き不透明感の払拭(19.7%)」、「設備投資税制優遇や助成金等の拡充(7.5%)」、「金融機関の貸出態度緩和(4.0%)」が続いた。また、「すでに積極化している」は2.3%、「積極的な設備投資はしない」は36.4%となった。

問4. 一部の地域や業種を中心に人で不足が深刻化していますが、貴社における人材の現況はどうなっていますか。人手不足の方は、人手不足にどう対処しているかについて最もあてはまるものを1~8より1つお答えください。また、人手は適正という方は9と、人手は過剰という方は0とお答えください。

(単位：件・%)

	人手不足の対応								9. 人手は適正	0. 人手は過剰
	1. 給与・賞与の引き上げ	2. 正社員の採用基準緩和	3. 非正規社員の採用拡大	4. 女性・高齢者の活躍	5. 機械化の推進	6. 下請け等へのアウトソーシング	7. 仕事量の調整(受注絞り込み等)	8. 対応不能従業員(努力等)		
合計(構成比)	4.6	1.2	2.9	5.2	1.7	4.6	3.5	5.2	71.1	0.0
合計件数	8	2	5	9	3	8	6	9	123	0
製造	4	0	0	4	1	0	1	1	28	0
建設	3	0	0	1	0	8	4	1	25	0
卸売	0	0	0	2	0	0	0	0	5	0
小売	1	0	3	1	0	0	1	6	42	0
サービス	0	2	2	1	2	0	0	1	23	0

*人材の現況については、「人手が不足している」が28.9%あった。対して、「人手は適正」が71.1%となり、「人手は過剰」とする企業は無かった。人手不足の対応については、「女性・高齢者の活躍(5.2%)」、「給与・賞与の引き上げ(4.6%)」、「下請けへのアウトソーシング(4.6%)」と続いた。

問5. 政府「成長戦略」では、訪日外国人の増加や外国人技能実習制度の見直しなど、外国人化との関わりを増やすような政策が提唱されています。貴社無では外国人との関わりの増加にどのような期待感を持っていますか。次の1~0より1つお答えください。

(複数回答) (単位: 件・%)

	期待している									0. 特に期待していない
	1. 国内での顧客層の拡大(売上増大)	2. 海外拠点展開の担い手	3. 職場の活性化・グローバル化	4. 新たな技術・ノウハウの獲得	5. 職場の労働力	6. 会社中枢を担う人材の確保	7. 地元経済の活性化	8. 文化交流の促進	9. その他	
合計(構成比)	9.2	0.0	2.3	2.9	8.1	1.2	15.0	2.3	0.0	59.0
合計件数	16	0	4	5	14	2	26	4	0	102
製造	6	0	1	1	6	0	4	1	0	20
建設	6	0	2	1	5	0	5	1	0	22
卸売	0	0	0	0	2	0	1	0	0	4
小売	4	0	0	0	0	1	13	2	0	34
サービス	0	0	1	3	1	1	3	0	0	22

* 訪日外国人増加や外国人技能実習制度の見直しなど、外国人との関わりの増加に対する期待感については、「期待あり」が41%、「特に期待していない」が59.0%となった。期待の内訳としては、「地域経済の活性化」15.0%ともっとも高く、次に「国内での顧客層の拡大・売上増大(9.2%)」、「職場の労働力(8.1%)」と続いた。

～調査員のコメントから～

- 今年の日高沖のイカ釣り漁は、群れが薄く漁場探しに苦戦している。(製造業)
- 昆布の水揚げは前年に比べ増加し、原料の調達が容易になった。(製造業)
- 前浜のツブ加工を中心に、順調に稼働している。(製造業)
- イベント開催に伴い、業務用麺類の需要が多く、売上増加した。(製造業)
- 町発注の住宅建設工事等あるものの、個人住宅の新築・リフォームの件数は、減少している。材料価格増加しており利幅が減少している。(建設業)
- 町発注の学校改修工等受注したが、依然として人手は不足。(建設業)
- 十勝方面の高速道路の建設工事で多忙となっている。(建設業)
- 野菜の仕入れ価格が高騰、産地を台風が襲撃し、売上に影響した。(卸売業)
- 水産物は、イカは不振だが、タコ漁が堅調となっている。(卸売業)
- コンビニ店は、昼食時にお客さんが多く、順番待ちになることがある。(小売業)
- 灯油、ガソリンの仕入れ価格は高く利益確保が難しい。(小売業)
- 昆布採取時期で、衣類・帽子などの小物が売れている。(小売業)
- 釣具などのネット販売順調。発送で忙しい日が多い。(小売業)
- 洗濯業ではコストの増加で収益が減ってきている。(サービス業)
- 店舗改装して初めての夏、観光客の入りは良好だった。(サービス業)